

地域相談支援ワークショップ in 神奈川・東京・千葉

午前（10時10分～12時30分）講義・グループディスカッション

テーマ：「がん専門相談員を育てる」を考えよう

<趣旨>

これまで神奈川県では国立がん研究センターの支援をうけて、がん専門相談員の教育プログラム（電話相談を対象としたがん相談対応評価表を活用したプログラム）に基づいた研修について、研究的に取り組んできました。午前の部では、この研修を県内のみならず隣県の相談員にも体験していただき、自施設での教育の在り方を考える機会を提供します。

研修会の内容は、神奈川県で行っている「がん相談対応評価表」を活用した研修です。体験ののち、参加者それぞれが心の中で自施設や地域の「がん専門相談員を育てる」ことについてお考えいただけたらと考えています。

目的

1. がん相談対応評価表の活用方法を理解する。
2. がん専門相談員の役割を再確認する。
3. 自己の日常の関わりに照らしながら検討し、相談員としてのありように気づきを得る。
4. 語り合いを通じて元気になる。

目標

1. がん相談対応評価表を活用して、実際に相談事例を評価できる
2. がん相談対応評価表を活用した検討の中で、がん専門相談員の役割と、役割に即した行動について言語化できる
3. 事例検討の討議の内容を自己の日常の関わりに照らして考え、気づいたことを言語化できる。
4. 他の施設の相談員と語り合うことで、元気を取り戻したと感ずることができる

方法

【事前課題】

教材としてのがんにまつわる電話相談の音声データ、音声データの逐語録を使って、研修日まで、自分なりに評価表を活用して評価してみる。

スケジュール

- 10時10分 午前の部オリエンテーション
- 10時15分 がん相談対応評価表についての説明
国立がん研究センター 高山智子先生
- 10時30分 グループディスカッション
- 12時20分 全体ディスカッション
- 12時30分 午前の部 終了

【グループディスカッションをする際の留意点】

- ・がん相談対応評価表を活用して相談を評価することは、相談の質を絶対評価することが目的ではありません。
- ・相談員自身が気づきを得て、相談の質を向上させていくことが目的です。
- ・ディスカッションでは、「どの段階に評価したか」をきっかけに話し合いを進めますが、評価を一致させるためのディスカッションではなく、そのように評価した理由を共有することを大切にしましょう。
- ・他者の話に耳を傾け、意見が異なっていることも尊重しあって話し合いましょう。

【ディスカッションの進め方】

1. 相談全体の印象や評価を話し合う
2. 評価表の個々の項目の評価と、その評価理由をディスカッションする
3. この事例について、より望ましい対応について話し合い、がん専門相談員の役割に照らして検討する
4. 検討を通してがん専門相談員としての自己の気づきについて、言葉にできる範囲で語り合う。